

農業との出会い、  
仲間との出会い

市民農業講座

# さっぽろ農学校

札幌市経済観光局農政部農業支援センター

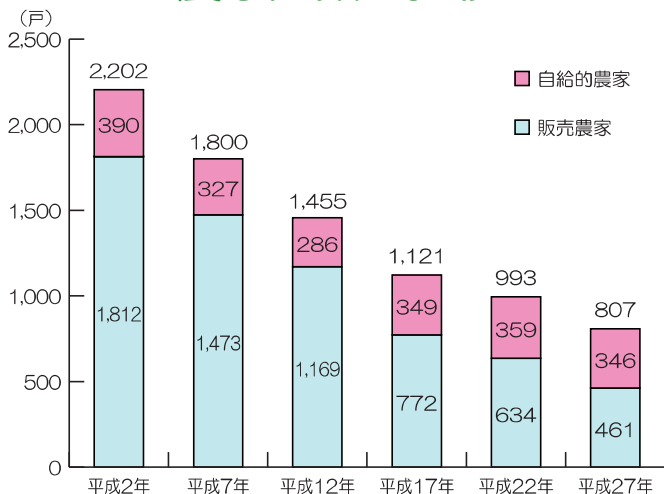
SAPPORO



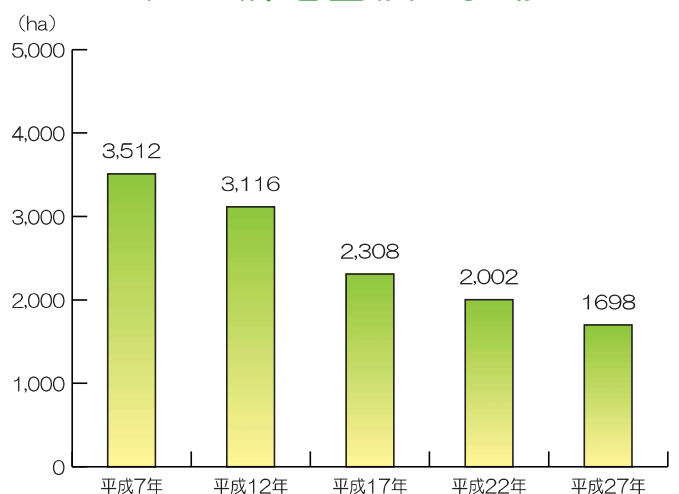
# 産業として 都市の環境として 市民に価値のあるものとして

札幌市の農業は、かつては寒冷地農業の技術拠点として、北海道農業の発展に大きく貢献してきました。しかし、時代や社会経済の変化、都市化が進む中で、担い手の高齢化や後継者難、農産物価格の低迷などを受けて、昭和30年代をピークに農家戸数、経営耕地面積とも年々減少するなど、厳しい状況が続いています。

### 農家戸数の推移



### 経営耕地面積の推移



(農林業センサス調査)

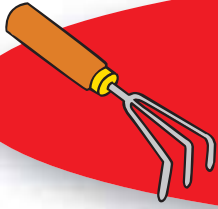


# さっぽる農業を 次世代に引き継ぐために

一方では、市民への新鮮安全な農産物の供給を始め、市街地周辺における緑地保全、市民の憩いや生きがいの場、教育の場など、農業が持つ多面的な機能が見直されるとともに、市民の「食」や「農」に対する関心が高まっています。

市民農業講座「さっぽる農学校」は都市型農業を引き継ぐ“新たな農業の担い手”や農業体験の指導者や農業ボランティアなどとして農業を支える“農業応援団”の育成を目的として平成13年にスタートしました。

家庭菜園や市民農園をより楽しむために作物づくりの知識とコツを講義形式により学ぶ「入門コース」と、農業にかかわっていくのに必要な栽培知識と技術をほ場での実習を中心に学ぶ「専修コース」を開講しています。



# 入門コース



「ちょっと野菜栽培について勉強したい」、あるいは「家庭菜園や市民農園で野菜栽培を楽しみたい」と考えている方を対象に講義形式により学びます。

## ● 講座内容

- 【開催期間】 4月中旬から9月下旬の日曜日
- 【回数】 講義43回
- 【時間】 第1講 9時30分～10時30分  
第2講 10時45分～11時45分



## ● コース定員

全期間 100名（応募者多数の場合は抽選により受講者を決定）  
開催当日受付 40名（先着）

## ● 受講料

全期間 8,000円（テキスト代を含む）  
開催当日受付 500円（1日2講義、テキスト代を含む）



## ● 会場

サッポロさとらんど（視聴覚室）  
札幌市東区丘珠町584-2  
電話（011）787-0223

## ● 対象

15歳以上で講座開設期間を通じて受講が可能な方。

## ● 応募方法

- 【募集期間】 2月から3月末
- 【申込方法】 札幌市ホームページよりお知らせを掲載します。  
サッポロさとらんど、各区役所などで配布する募集案内をご覧のうえ  
往復葉書にてご応募ください。



※上記は平成31年度の実施状況です。開催期間、定員、受講料等は開催年度によって変わることがありますのでご了承ください。

# 入門コースカリキュラム (参考:平成31年度)

月	日	曜日	課 題 名	内 容
4	7	日	開講式	
			「野菜作りの基礎」その1	作物の分類、基礎的な特性と栽培計画
			「野菜作りの基礎」その2	土作りの基本、堆肥、土壌 pH 石灰施用
	14	日	「野菜作りの基礎」その3	肥料の種類と施し方
			「野菜作りの基礎」その4	作物の発芽適温と生育適温、は種と育苗方法
	21	日	「春の保温・低温対策」	ハウス・トンネル・べたがけ・マルチ栽培適応品目と資材の特徴
			「イモ類の栽培」その1	馬鈴しょ、ながいもの栽培方法
28	日	「とうもろこしの栽培」	とうもろこしの栽培方法	
		「プランター栽培」	ベランダや畑の狭い場合の栽培方法	
5	12	日	「イモ類の栽培」その2	サツマイモの栽培方法
			「豆科作物の栽培」	枝豆、さやいんげん・さやえんどうの栽培方法
	19	日	「根菜類の栽培」その1	だいこん・カブ・ラデッシュ栽培方法
			「ナス科野菜の栽培」その1	トマト・なす・ピーマン・カラーピーマン等の栽培方法(播種・育苗・定植・着果管理)
	26	日	「ウリ科野菜の栽培」その1	すいか・メロン・きゅうり・かぼちゃ等の育苗・定植・着果管理方法
「農薬に頼らない病害虫対策」			栽培的防除、物理的防除、生物的防除、その他方法	
6	2	日	「アスパラガスの栽培」	アスパラガスの栽培方法
			「根菜類の栽培」その2	にんじん・ごぼうの栽培方法
	9	日	「葉茎菜類の栽培」その1	キャベツ、白菜・ブロッコリー、カリフラワー等の栽培方法
			「たまねぎ・ながねぎの栽培」	たまねぎ・ながねぎ・こねぎの栽培方法
	16	日	「葉茎菜類の栽培」その2	レタス類、ほうれんそう等 葉物野菜の栽培方法
			「ウリ科野菜の栽培」その2	すいか・メロン・きゅうり・かぼちゃ等の誘引・収穫方法
	23	日	「温暖化に対応した野菜の栽培」	ゴーヤ・オクラ・落花生等の栽培方法
			「花栽培で生活に潤い」	庭やプランターで楽しむ易しい花の栽培方法
30	日	「これからの病害虫防除管理」その1	やさしい病害対策	
		「これからの病害虫防除管理」その2	やさしい害中対策	
7	7	日	「雑草の知識と対策」	問題となる雑草の種類や付き合い方、防除方法
			「ナス科野菜の栽培」その2	トマト、なす、ピーマン、カラーピーマン等の整枝・摘葉等これからの管理
	14	日	「有機農業の実際」その1	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ
			「有機農業の実際」その2	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ
	21	日	「育てたハーブを活かした楽しい生活」	札幌のラベンダーとハーブ類の活用方法
			「小果樹類の栽培」	ブルーベリー・ハスカップ等の栽培方法
28	日	「秋に定植する野菜類の栽培」	いちご、にんにく、らっきょう等の栽培方法	
		「トマトおもしろセミナー」	トマトに関するおもしろ知識(無料公開)	
8	4	日	「北海道の新顔野菜」その1	リーキ・セロリアック・ロマネスコ・トレビス等の栽培方法
			「食欲増進、健康増進野菜の栽培」	セルリー・チコリ・ルバーブ・ヤーコンの栽培方法
	18	日	「北海道の春の山菜」	タラノ芽、ぎょうじゃにんにく、うど等の栽培方法
			「多年生野菜の栽培」	にら・みつば、みょうが、西洋わさび等の栽培方法
	25	日	「家庭で出来る農産加工事例」その1	トマトソース、野菜ジャムの作り方
「家庭で出来る農産加工事例」その2			自家用漬け物の作り方	
9	1	日	「北海道の新顔野菜」その2	ショウガ・キクイモ・アピオス・ゴマ等の栽培方法
			「秋野菜の収穫、貯蔵方法」	野菜の生理生態からの適期収穫、貯蔵方法
	22	日	「タマネギおもしろセミナー」(9:30～)	たまねぎに関するおもしろ知識(無料公開)
	29	日	「質問に答えて、総復習」その1	これまでに出された質問に答えて、総復習
			「質問に答えて、総復習」その2	これまでに出された質問に答えて、総復習
			閉講式	



# 専修コース



専用ほ場を利用した実習や講義を通じて、作物栽培の知識と技術、実際の作物の栽培計画から栽培方法、収穫販売までを学ぶことで、基礎的な農業知識や技術を身に付けることができます。

## ● 講座内容

【開催期間】 4月上旬から11月上旬の土曜日主体

【回数】 実習47回、講義19回  
栽培管理12回、計78回

【時間】 原則9時から17時の間で開催日により異なります。

## ● コース定員

全期間 24名程度  
(書類選考により受講者を決定)



## ● 受講料

全期間 48,000円  
(期間中のテキスト代、種苗費、農業資材費等を含む)

## ● 会場

札幌市農業支援センター  
札幌市東区丘珠町569-10  
電話 (011) 787-2220



## ● 対象

15歳以上で講座開設期間を通じて受講が可能な方。  
※必ずしも入門コースを修了している必要はありません。

## ● 応募方法

【募集期間】 2月から3月上旬

【申込方法】 札幌市ホームページよりお知らせを掲載します。  
サッポロさとらんど、各区役所などで配布する募集案内をご覧のうえ  
募集案内に付属する受講申込書にてご応募ください。

※上記は平成31年度の実施状況です。開催期間、定員、受講料等は開催年度によって変わることがありますのでご了承ください。

# 専修コースカリキュラム (参考:平成31年度)

月	日	曜日	時間	種別	内容	月	日	曜日	時間	種別	内容		
4	6	土	9:00~12:00	講義 1	開講式、施設紹介、受講説明、自主管理プログラム作成説明	7	3	水	9:00~12:00	管理 5	共同・自主管理圃場管理		
			13:00~15:00	講義 2	土づくり及び施肥管理				9:00~12:00	実習27	露地:スイートコーン除草・追肥・培土		
	13	土	9:00~12:00	実習 1	PH:キュウリ播種、オクラ播種、イチゴ管理		13:00~16:00	実習28	自主管理圃場巡回				
			13:00~15:00	講義 3	土壌診断と肥料計算演習、自主管理プログラム説明		10	水	9:00~12:00	管理 6	共同・自主管理圃場管理		
	14	日	9:00~12:00	実習 2	鉢上げ、ハレイショ芽出し				9:00~12:00	実習29	露地:カボチャ受粉・誘引・除草、レタス②播種		
			13:00~15:00	講義 4	果菜類・畑作的野菜の特性と栽培		13:00~16:00	講義10	販売実習準備・打ち合せ				
	20	土	9:00~12:00	実習 3	鉢上げ、カボチャ・自主:キュウリ播種		17	水	9:00~12:00	管理 7	共同・自主管理圃場管理		
			13:00~15:00	実習 4	自主管理プログラム作成				20	土	9:00~12:00	実習30	機械実習、共同:ピーマン収穫、ハウス:収穫・追肥
			15:15~17:15	講義 5	園芸資材の特性と利用						13:00~16:00	実習31	自主管理圃場巡回
	21	日	9:00~12:00	実習 5	ハレイショ天地返し、鉢上げ		24	水	9:00~12:00	管理 8	共同・自主管理圃場管理		
			13:00~16:00	講義 6	葉菜類・根菜類の特性と栽培				27	土	9:00~12:00	実習32	共同:整枝収穫、レタス②定植、除草
	27	土	9:00~12:00	実習 6	鉢上げ、イチゴ追肥、マリーG播種、自主管理圃場防風ネット張り		13:00~16:00	講義11			修了生の就農とNPO活動・市民の農業参加		
13:00~15:00			講義 7	雑草と対策	31	水	9:00~12:00	管理 9	共同・自主管理圃場管理				
5	4	土	9:00~12:00	実習 7			鉢上げ、ハレイショ定植、タマネギ定植	8	3	土	9:00~12:00	実習33	共同:収穫・管理、PH葉菜②播種(機械播種)
			13:00~15:00	実習 8	自主準備	13:00~15:00	講義12				担い手育成対策		
	11	土	9:00~12:00	実習 9	PH:キュウリ定植、露地:ニンジン播種	7	水		9:00~12:00	管理10	共同・自主管理圃場管理		
			13:00~15:00	講義 8	病害虫1				10	土	9:00~12:00	実習34	ハウス・露地:収穫・管理
	18	土	9:00~12:00	実習10	PH:トマト定植、葉菜類①播種	14	水		9:00~12:00	管理11	共同・自主管理圃場管理		
			13:00~15:00	講義 9	病害虫2				17	土	9:00~12:00	実習35	ハウス・露地:収穫・管理
	19	日	9:00~12:00	実習11	レタス等播種、調理用トマト定植、カボチャ定植	13:00~15:00	講義13				新規に農業を始めるために		
			13:00~15:00	実習12	自主準備	21	水		9:00~12:00	管理12	共同・自主管理圃場管理		
	25	土	9:00~12:00	実習13	露地:エダマメ①播種、ニンジン除草・間引き、PH:オクラ定植				24	土	9:00~12:00	実習36	ハウス・露地:収穫・管理
			13:00~15:00	実習14	PH:トマト・キュウリ誘引・脇芽取り	13:00~17:00	実習37				販売実習準備		
	26	日	9:00~12:00	実習15	露地:ナス・ピーマン類定植、PH:コマツナ中耕・間引き	31	土		9:00~12:00	実習38	販売実習準備:収穫野菜洗浄、調整、袋詰め		
			13:00~15:00	実習16	自主準備				13:00~17:00	実習39	販売実習準備:葉物野菜収穫、調整、仕分、袋詰め、テント運搬		
6	1	土	9:00~12:00	実習17	PHホウレンソウ中耕・間引き、露地:スイートコーン①播種、エダマメ②播種、サツマイモ定植	9	5	木	9:00~12:00	実習40	収穫、収穫調整、販売実習(さとらんど)		
			13:00~16:00	実習18	ハレイショ中耕・培土、タマネギ中耕、自主				13:00~15:00	実習41	販売実習(さとらんど)		
	5	水	9:00~12:00	管理 1	共同・自主管理圃場管理		14	土	9:00~12:00	実習42	共同圃場・自主管理圃場片付け		
			9:00~12:00	実習19	露地:スイートコーン②播種、レタス①・キャベツ・ハクサイ定植				13:00~15:00	講義14	流通の動向と対策		
	8	土	9:00~12:00	実習20	自主管理圃場巡回		21	土	9:00~12:00	実習43	共同圃場・自主管理圃場片付け		
			13:00~16:00	実習21	露地:ニンジン間引き、タマネギ除草、エダマメ・スイートコーン①除草、PH:コマツナ収穫				13:00~15:00	実習44	自主管理圃場片付け		
	12	水	9:00~12:00	管理 2	共同・自主管理圃場管理		28	土	9:00~12:00	実習45	中央卸売市場視察		
			9:00~12:00	実習22	自主管理圃場巡回				5	土	9:00~12:00	実習46	共同圃場・自主管理圃場片付け
	15	土	9:00~12:00	実習23	露地:スイートコーン②除草、カボチャ仕立て・整枝、PH:収穫		13:00~15:00	講義15			農業生産工程管理手法		
			13:00~16:00	実習24	自主管理圃場巡回		12	土	9:00~12:00	講義16	調理・加工実習		
	19	水	9:00~12:00	管理 3	共同・自主管理圃場管理				13:00~16:00	実習47	収穫、自主管理圃場片付け最終期限		
			9:00~12:00	実習25	露地:果菜類トンネル外し・支柱立て、PH:ホウレンソウ収穫		19	土	9:00~12:00	講義17	自主管理圃場の総括・質疑		
13:00~16:00	実習26	自主管理圃場巡回	13:00~16:00	講義18	成果発表								
22	土	9:00~12:00	管理 4	共同・自主管理圃場管理	26	土	10:00~12:00	講義19	修了式				
		9:00~12:00	実習27	露地:果菜類トンネル外し・支柱立て、PH:ホウレンソウ収穫			13:00~15:00	成果発表					
29	土	9:00~12:00	実習28	自主管理圃場巡回	11	2	土	17:00~18:00	講義19	修了式			
		13:00~16:00	実習29	自主管理圃場巡回									

# 専修コース修了後の活動状況

農業支援センターで実習を終えた修了生は様々な場面で活躍しています。農業者として就農した方、さらなるステップアップを目指して農業研修に取り組む方、特定非営利法人(NPO 法人)を立ち上げ様々な方面から農業に取り組む方、農業ボランティアや農体験リーダーとして、子どもたちの農業体験の講師として活躍する方など、多くの修了生が農業と関わりのある活動を行っています。

## ◎修了生の活動状況 (平成31年4月1日現在)

	就農		農業研修	NPO法人	ボランティア	農業関係就職
	市内	市外				
活動人数(人)	37	21	26	40	90	12

※平成13年から平成30年に受講した450人中

## REPORT.1

## 農体験リーダー活躍中

札幌市では農学校の修了生など、一定の農業技術や知識を習得した市民の方を「農体験リーダー」として認定し、小中学校の総合的な学習の時間や町内会の活動等に派遣しています。農学校修了生のうち57名の方が農業体験の指導者として活躍しています。

(平成30年6月末現在)





## REPORT.2

# 広がる情報交換の場「さっぽろ農学校OB会」

さっぽろ農学校は農業に関する技術や知識を習得する場であると同時に、同じ志を持った仲間との出会いの場にもなっています。

専修コース修了生の情報交換と交流の場として「さっぽろ農学校OB会」が結成されています。OB会では、情報交換研修会の開催や、修了生の活動状況を報告する「OB会報誌」の発行など、受講時期をまたがったつながりを持ち、積極的な活動を続けています。



## REPORT.3

# 修了生の声

大学進学を機に北海道へとやってきました。

環境学を専攻し、自然環境の保全や生態系の仕組みなどについて学んだのち、動植物の調査・研究を行っていましたが、この時に野山に自生するイチゴやブドウ、ハスカップの容姿と美味しさに感動したのがきっかけで農業に興味を持つようになりました。

その後、本格的に農業の勉強もしたいと考え「さっぽろ農学校」に入学。果菜類や葉菜類を中心に北海道や札幌の農業について学び、卒業後は農業研修の機会にも恵まれました。

現在は札幌という立地も生かし「より多くの人にこの感動を伝えたい！共有したい！！」との思いで、体験型の観光農園を開園するに至りましたが、就農間もないヒヨッコ農家です。

作物の生育スピードに圧倒され、作業が追い付かないこともしばしば…

そんな時に手を差し伸べてくれるのが、農学校やOB会などを通じて知り合った多くの仲間達です。こうした方々の支えがあったからこそ、何とか夢を形にすることができたのだと感謝しています。

また、開園から1ヶ月ほどが過ぎましたが、既に2回3回と足を運んで下さるお客様も現れ、最近では来園された方の声を直に感じながら今後の展望について思いを馳せる日々を送っています。

さて次は何をしよう(^\_^)☆

「さっぽろ農学校(専修コース)」  
さっぽろ農学校 15期生 戸田 秀之

# さっぽろ農学校からひろ

## 農業応援団

農業体験  
リーダー



NPO法人

やさいまーけっと



生きがい農業

個人・グループでの  
市民農園などの積極的利用



援農

高齢農業者などの農作業を支援



# さっぽろ 農学校



# がる、つながる活動の輪

## 新たな担い手

### 農業後継者



## 新規就農



## 農業研修

農家や農業期間での研修



## REPORT.4

## 新しい農業参入の形、NPO 法人を設立

農学校の修了生の有志により平成18年に「NPO 法人さっぽろ農学校倶楽部」、平成21年に「NPO 法人グリーンライフさっぽろ」が設立されました。

「安全・安心な農業」や「地産地消」の実現が可能な市民参加型の都市農業を展開し、優良農地の保全と遊休農地の有効利用促進を目指しています。

農産物の生産・供給のほか、体験農場等の運営による「食農教育」の推進や公開セミナーの開催など、様々な活動を行っています。

NPO 法人さっぽろ農学校倶楽部  
<http://nougakkou-c.la.coocan.jp/>



NPO 法人グリーンライフさっぽろ



# お問い合わせ先

## 入門コース

### サッポロさとらんど

札幌市東区丘珠町 584-2  
電話 (011) 787-0223  
ファックス (011) 787-0947  
<http://www.satoland.com/>

## 専修コース

### 札幌市経済観光局農政部農業支援センター

札幌市東区丘珠町 569-10  
電話 (011) 787-2220  
ファックス (011) 787-2221  
<http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/center/index.html>

## 交通のご案内



もっと詳しく知るには・・・



さっぽろ農学校

検索



さっぽろ市  
02-H04-19-1807  
31-2-1228